



## 学塾通信 5月号 (第65回)

～学塾は一人ひとりが目標に向けて真摯に取り組む教室である。～

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

小学校から中学校に進学すると大きな変化が起こります。小学校の間はテストの点数を問題なく取ることができていたひと、中学校に入ったあと点数をとることができなくなるということが度々あります。

特に気をつけなければならないのは「宿題」です。どの小学校でも、学校の先生は宿題を細かくチェックして、できていないところは付箋を貼るなどをして、繰り返し練習できる様にサポートして下さります。したがって、学校の宿題をきちんと取り組むことで基礎学力を基本的には確保することができていました。

一方、中学校における宿題とは、最低限取り組まなければならないものという位置づけです。そこからプラスαは自分で学ばなければなりません。実力テストなどでは応用力が問われる問題も出題されます。

毎年、初めてテストを受ける中学1年生からは同じ質問を受けます。「この問題は習っていません」「この単語は授業で出ていません」という内容です。しかし、テストで出題されるのは授業で習ったことだけではありません。習ったことから派生する内容も出題されることをあらかじめ知っておいてください。

また、中学校から高校への進学は進学先の学校によって取り組む内容が大きく変わります。ですから、学校での順位だけでなく、客観的な自分の位置を意識しておく必要があります。テストの点数は平均点ぐらいのひとでも、学校のレベルが高ければ、学校を選択する際に幅広い選択肢が生まれるのです。逆に学校で上位をとっていても、学校で学習する内容が目指す高校のレベルに達していないということも考えられます。進学先の過去の進学実績を参考にしつつ目標を定める、もしくは、定期的に模試を受けるなどをして、全体における自分の立ち位置を確認しておくようにしましょう。

4月は新年度のスタートということもあり、色々な相談をいただきます。この1ヶ月間で特に多かったのは、お子様が自宅ではゴロゴロして机に向かわないという内容の相談でした。

子どもたちは自宅の外では頑張っています。学校では人間関係の壁にぶつかったり、傷ついたりすることがあります。社会の縮図である学校で一生懸命に頑張っているのです。帰宅後の自宅での様子は、心身のバランスを保っているのだと思います。私が塾でみている子ども達は素晴らしく頑張っています。

慣れるまでは、無理をすることが多くなるため精神的にも体力的にも疲れやすい時期になります。

新入生の保護者のみなさま、子ども達は新しい環境で頑張っています。自宅で寝てばかり、何もしていないという状況でも、「家でゴロゴロしてばかり」と思わず「今日も頑張ってきたんだなあ」という目で見てください。



## ☆小学生、中学1・2年生☆

### ○公立中学生 定期テスト対策について(全学年対象)

公立中学生の方には定期テスト対策の申込書を同封しています。

参加希望者は申込書の提出をお願いします。対策授業の内容は昨年までと同じです。

テスト対策で理社を映像授業で受講をする塾生は、テスト直前の1週間に授業を詰めて厳しいスケジュールにするのではなく、2週間前から余裕を持って準備をすると効果的です。

1年生のみなさんは初めての定期テストです。

説明会を実施し、テスト前の取り組み方や学塾のテスト対策授業についてお伝えします。

(4月28日 17時半～18時半)参加を希望される方は同封の申込書をご提出下さい。

### ○G-kids コースのみなさん(小1～小3 算国知育 60分コース)

今月は偶数月のため、月末は月例テストが宿題になります。4月の学習内容の定着を図る機会です。

5月の最初の授業時に提出をして下さい。

### ○英検対策コースのみなさん

この春から英検対策コースを始めたみなさん。最初は Skype をつかっての会話の練習は恥ずかしく、うまく会話ができません。ですが2・3ヶ月もすると、最初のころが嘘のように楽しく会話ができるようになります。緊張するかもしれませんが、まずは思い切ってチャレンジしてみましょう。

### ○学塾マイページへのログインについて

今月より学塾通信は紙での配布をしない予定でした。まだマイページにログインできていない方がおられるため、ログイン履歴が残っていない方にのみ紙での配布を行います。マイページから閲覧していただいている方で、紙での配布を希望される方は直接お渡します。教室まで連絡をお願いします。

## ☆中学受験生☆

ズパピタ(理科)・漢字・サーパス国語(ことわざ、四字熟語)の暗記は、自宅での空き時間をうまく使しましょう。寝る前に布団に入った時の5分など、空き時間を使うことは非常に有効です。

この春休みは基本事項の確認を行いました。計算が合わないということが多発しましたね。これからも毎日の計算問題が宿題として出されます。計算力を上げるために毎日丁寧に取り組みましょう。特に×になった問題の確認が大切です。重要なのは、なぜ間違えたのかを欠かさずに確認することです。そのためには途中式を必ず書きましょう。

春期講習は終わりましたが、夏期講習会に入るまでには、この春取り組んだ内容をもう一度解いておきましょう。基本的な解法がわかっている状態で夏を迎えたいものです。

## ○模擬テストについて

第2回 五ツ木模試 5月13日(日) 必須受験です。

受験料は6月分の授業料と一緒に引き落としになります。

### ☆高校受験生☆

春期特別講座では「振り返りノート」を使いました。これは、当日に学習した内容の記録と次回に向けての振り返りをするためのものです。この振り返りノートは、子どもたち自身が授業を受けて身についたこと、できなかったことを記録します。私たち講師もそれを見て授業内容やフォローの時間をとります。毎回の学習を客観視し次までに課題克服のために何ができるのかを考えることは、学習の効果を上げるために重要です。各講習会で書き留めたノートは受験当日には自分だけの参考書になります。この春の様子をみていると、解法はわかっても計算で間違えるひとがたくさんいました。秋以降に計算で点数を落とすことは致命的な弱点となります。毎日の練習で計算力を身につけて下さい。12月の中旬からはそれぞれが受験をする学校の問題を解きます。それまでに中学校での学習内容をすべて終わらせるため、現在、学塾で数学を受講していない方もできる限り受講をお願いします。

## ○模擬テストについて

第1回 五ツ木模試 5月13日(日)

受験は任意ですが、できる限り受験しましょう。申し込み用紙は4月2週に配布をしています。

申込〆切は4月21日(土)です。

受験料は6月分の授業料と一緒に引き落としになります。

## ○自主学習について

新年度より週1回の自主学習の必須としています。まだスケジュールに組み込むことができていない人は一日でも早くスタートさせてください。何もせずに成績が上がることはありません。「自分なりに頑張った」ではなく、結果がでる努力をしましょう。

## ○課題テストについて

4月2週目に課題テストを実施しました。しっかりできている人とそうでない人の差が大きく開いています。これはテストに向けての準備の差です。今回、点数を取ることができなかった人は次回こそは一回で合格できるよう準備をして下さい。

## ☆高校生のみなさんへ☆

高校1年生のみなさん、進学先の学校では同じような学力の生徒が集まります。中学生の頃とは違い、取り組み方によっては校内でも上位を目指すことができますが、その逆もあります。1学期の中間テストがその後の基準となりますので、気合を入れて取り組んでください。

2年生のみなさんは、昨年1年を振り返るとあっという間に過ぎたという印象ではないでしょうか。ついこのあいだ高校受験が終わったばかりのように感じますが、そろそろ高校卒業後の進路について考えはじめる時期です。

高校卒業後は、高校受験よりさらに広い選択肢があります。将来のことを考えながら進む道を定めていきましょう。

3年生のみなさんは、本格的に進路のことを考え学習時間を増やしていきましょう。大学受験を目指す人は夏の終わりには入試問題に取り組めるような学力を身につけていきたいです。そう考えると、今取り組むべきことは基本的な知識の確認と定着を図ることです。現役生だけではなく、既卒生も大学を受験します。人気がある学校になればなるほど高いレベルが求められます。今から計画的な準備をしていきましょう。

新年度を迎えるにあたり、学塾からのお願い。

### ○授業時間について

ときどき授業時間に遅れてくる方がおられます。

お家への確認電話などを行っている間、質問を待っている生徒や保護者の方との面談を中断することがあります。時間通りに来ない人のために他の方に迷惑をかけることはあってはならないことです。

授業開始時には勉強ができる状態になるよう、逆算して自宅を出るようにしてください。

万が一、遅刻しそうであれば事前に教室まで連絡をすることを徹底してください。



### ○テスト結果・通知表の提出について

みなさんが一生懸命に取り組んだ結果を振り返るためにも全員のテスト結果を分析する必要があります。また通知表の数字は内申点となる重要なものです。適切な進路指導をするためにもテスト結果・通知表は必ず持ってくるようにしてください。

### ○塾からの帰りについて

塾からの帰りに寄り道をしたり、お友達と話をしたりして遅くならないようにして下さい。

テレビや新聞などで、子どもに関する事件を目にするたびに安全管理の重要性を思い知らされます。

22時以降の学習を認めていないのも安全面の問題があるからです。

### 「塾からの帰りに寄り道をしない」

みなさん、どうかこれだけは必ず守ってください。